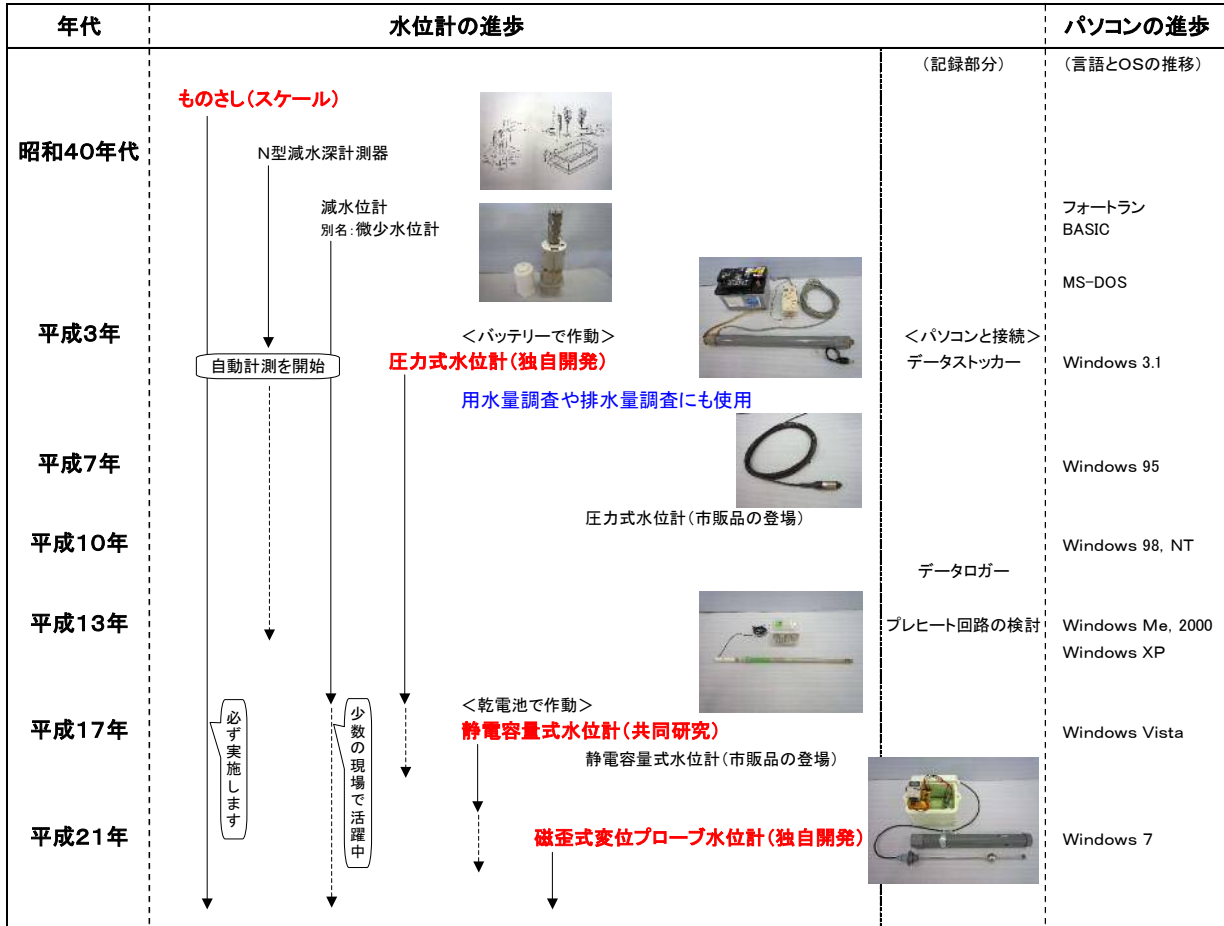




# 「水位計を使用した水田湛水深の計測技術」

## 開発の背景・成果



- 計測の基本：  
‘計測の基本は実測’であり、どんな正確な水位計があっても、計測値と実測値との比較を忘れてはいけません。  
‘ものさし(スケール)’を使用した実測と確認は、必ず実施します。
- 自動計測について：  
農業工学研究室は、試験研究の中で、水田湛水深や用水量・排水量の計測に取り組んできました。  
自動計測に関する技術には15年以上の歴史があり、圧力式水位計を市販品に先立ち開発しました。
- 計測技術の進歩：  
圧力式水位計から始まった「自動計測の歴史」は、「パソコンの進歩」とともに歩んできました。  
近年、大量のデータを高速に処理することが可能になってきたことにより、計測～記録～解析の総合技術として大きく進歩しています。

## 愛知県農業への貢献

水田の水管理技術、農業用水の水需要動向に関する試験研究では、水位計を使用した水田湛水深、減水深、用水量及び排水量の現地計測が必要不可欠です。

自動計測に関する技術開発は、今までにない詳細な計測値が得られると共に、試験研究の効率化にも大きく寄与しました。

また、行政の現場(水利権の交渉場面等)においても、より正確な計測値が求められていますので、さらなる開発改良を続けます。